

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ボラリスひろば人見教室 TOMO			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 11日		～	2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2025年 11月 11日		～	2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	DIDIMを療育に取り入れている。	内容に飽きないように定期的に新しい動きを取り入れている。	更なる体力や体幹強化を図っていく。
2	児童発達支援と放課後等デイサービスが同じ建物内である。	椅子入れや矢印方向で移動などの基本的なルールは統一の 為、放課後等デイサービス移行後も混乱のないようルールの 定着化を強化している。	放課後等デイサービスとの関わりを深める為、合同行事など の機会を増やしていく。
3	小集団での療育を行っている。	落ち着いた雰囲気の中での活動や子ども達の待ち時間短縮。	安心した環境で取り組めるよう定期的に環境設定の見直しを 行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日によっては個別対応が困難。	言語聴覚士の療育がある日は完全個別になる空間の確保が難しい。	クールダウンスペースの確保、人員確保。
2	サポート体制。	職員の人数によっては個別にじっくり寄り添う時間が限られている。	サポート体制についての話し合いや職員間情報共有の強化。
3			